

こうとうくきょういくいいんかいしゅうぞうしりょう  
江東区教育委員会収蔵資料

# 大石家に伝わった節分用の枱

今回ご紹介するのは、「<sup>きゅうおおいしけじゅうたく</sup>旧大石家住宅」(南砂 5 丁目 24 番地先 <sup>せんだいぼりがわ</sup>仙台堀川公園内) でふだん展示して

いる<sup>せつぶんよう</sup>節分用の枱<sup>ます</sup>です。もともと同住宅の家主であった東砂の大石家に伝来したもので、側面の2面にそれ

ぞれ「昭和九歳／二月三日／<sup>としおとこ</sup>節分會」「<sup>すみが</sup>歳男／大石政五郎」の墨書きが、側面のもう2面と底面(内・外)の

計4面に「役流山」の焼印があります。“役流山”は明治から昭和 23 年(1948)まで南砂 4 丁目 15 番の中央

寺の場所にあった<sup>ふどういん</sup>不動院の山号を指します。このことから、昭和 9 年(1934)2 月 3 日に不動院で実施され

た<sup>せつぶんえ</sup>節分会に、<sup>としおとこ</sup>年男として参加された大石政五郎さんが記念として保存していたものと分かります。ちなみ

に、昭和 17 年に発行された『<sup>じょうとうくしこう</sup>城東区史稿』(城東区役所)には、不動院の年中行事の記述として“二月節分

豆まき”と見えます。



展示状況

# 側面 1



# 側面 3



側面 2



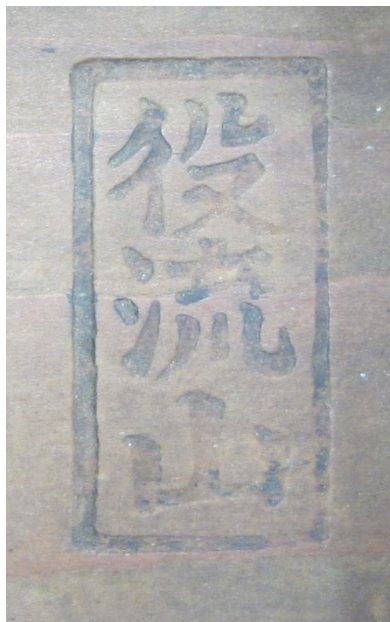
側面 4



外底面



内底面



ます せつぶんよう  
枡 (節分用)

規格 (外寸) : 幅 17.2 cm × 奥 17.4 cm × 高さ 8.6 cm

備 考 : 一升枡 いっしょうます